

会 務 報 告

平成7年東日本歯学会総会が平成7年2月25日 北海道医療大学歯学部で開催された。

1. 庶務報告

①会員数：名誉会員8名，正会員1027名，準会員21名，賛助会員20名，学生会員1名

②役員数：評議員62名，理事20名，常任理事11名，監事2名

③会議開催

1) 常任理事会・監事会

平成6年度 第1回 平成6年2月16日(水)

平成6年度 第2回 平成6年4月6日(水)

2) 理事会

平成6年度 第1回 平成6年2月23日(水)

平成6年度 第2回 平成6年5月11日(水)

平成6年度 第3回 平成6年8月24日(水)

3) 評議会

平成6年度 第1回 平成6年2月25日(金)

4) 総会

平成6年度 第1回 平成6年2月26日(土)

2. 編集報告

①東日本歯学雑誌 13巻1号

平成6年6月発行(本文195頁)

原著10編/臨床2編/教育2編/特別講演要旨1編/学位論文要旨1編/講演抄録1編/会務報告1編/広告13件

②東日本歯学雑誌 13巻2号

平成6年12月発行(本文80頁)

原著6編/臨床1編/定例講演会要旨1編/学会事務報告1編/広告11件

3. 企画報告

平成6年度第12回学術大会 平成6年2月26日(土)

担当 歯科保存学第1講座 演題 41題

平成6年度東日本歯学会定例講演会 平成6年11月25日(金)

『21世紀の歯科医学医療』

小椋 秀亮(東京医科歯科大学名誉教授)

特別講演会

①『小児歯科外傷と今後の展望(小児歯科の将来)』

平成6年1月26日(水)

檜垣旺夫教授(神奈川歯科大学小児歯科学教室)

小児歯科学講座 五十嵐清治

東日本歯学会 平成6年 決算書(平成6年1月1日～平成6年12月31日)

収入の部		
科 目	予 算 額	決 算 額
①会費・入会金	4,366,000	5,048,000
正会員		
本年納入分	2,500,000	2,700,000
(500名×5,000)		(540名×5,000)
滞納分	100,000	445,000
(20名×5,000)		(89名×5,000)
前々年前受金	375,000	375,000
(75名×5,000)		(75名×5,000)
前年前受金	435,000	435,000
(87名×5,000)		(87名×5,000)
5,000		5,000
(1名×5,000)		(1名×5,000)
準会員	57,000	63,000
滞納分	(19名×3,000)	(21名×3,000)
21,000		(7名×3,000)
賛助会員	570,000	540,000
滞納分	(19名×30,000)	(18名×30,000)
新規会員/新卒	300,000	385,000
(60名×5,000)		(77名×5,000)
新規会員/その他	15,000	55,000
(3名×5,000)		(11名×5,000)
入会金	9,000	24,000
(3名×3,000)		(8名×3,000)
②事業収入	850,000	762,855
広告料	500,000	420,000
別刷料	100,000	92,855
掲載料	250,000	250,000
製版料	0	0
③雑収入	300,000	809,421
利息	100,000	98,342
その他	200,000	711,079
当時収入(A)	5,516,000	6,620,276
前期繰越金(B)	6,991,000	6,991,000
次期繰越前受金(C)	1,010,000	1,230,000
前年前受金	400,000	400,000
(80名×5,000×1)		(80名×5,000×1)
本年前受金	600,000	800,000
(60名×5,000×2)		(80名×5,000×2)
10,000		10,000
(2名×5,000×1)		(2名×5,000×1)
20,000		20,000
(1名×5,000×4)		(1名×5,000×4)
収入合計(D)	13,517,000	14,841,276
(=A+B+C)		

支出の部		
科 目	予 算 額	決 算 額
①学術大会開催費	220,000	167,656
開催費	20,000	44,056
印刷費	200,000	123,600
②定例講演会開催費	300,000	248,655
宿泊費等	150,000	105,555
旅費	50,000	43,100
謝礼金	100,000	100,000
③学術全国大会補助金	100,000	100,000
④特別講演会補助金	200,000	200,000
⑤雑誌発行費	3,600,000	3,971,485
印刷費	3,000,000	3,415,995
発送費	600,000	555,490
⑥事務経費	1,018,000	865,301
事務委託費	648,000	600,000
印刷費	50,000	15,140
通信費	240,000	175,926
事務用品費	80,000	74,234
⑦備品費	0	0
⑧テノタルトビノクス補助金	300,000	300,000
⑨会議費	50,000	30,210
⑩予備費	100,000	0
⑪諸雑費	100,000	35,142
当期支出合計(E)	5,988,000	5,918,449
当期支出差額(F)	(A-E)	701,827
次期繰越金(G)	(B+F), (H-C)	7,692,827
次期繰越前受金(C)	1,010,000	1,230,000
前年前受金	400,000	400,000
(80名×5,000×1)		(80名×5,000×1)
本年前受金	600,000	800,000
(60名×5,000×1)		(80名×5,000×2)
10,000		10,000
(2名×5,000×1)		(2名×5,000×1)
20,000		20,000
(1名×5,000×4)		(1名×5,000×4)
収支差引残額(H)	(=D-E)	8,922,827
総支出(E+H)	13,517,000	14,841,276

本年の帳簿等関連諸表を調査の結果、決算報告に誤りのないことを認めます。

平成7年2月2日
 会計監事 坂口 邦彦 印
 会計監事 上田 五男 印

- ②『高齢義歯患者の心理』 平成6年1月28日(金)
山崎久美子
(東京医科歯科大学教養部心理学教室助教授)
歯科補綴学第1講座 平井敏博
- ③『Structure and function of gap junctions』
平成6年3月7日(月)
Dr Winrich Breipohl
(ドイツ・ボン大学・実験眼科学教授)
口腔解剖学第2講座 武田正子
- ④『Bacterial diagnosis and monitoring
(歯周疾患の細菌学的診断)』平成6年4月5日(火)
P Baehni (ジュネーブ大学歯学部教授)
歯科保存学第1講座 小鷲悠典
- ⑤『歯科治療の問題点—米国のAIDS患者の訴え』
平成6年10月24日(月)
笠 淳一 (Department of Microbiology
School of Medicine
Loma Linda University助教授)
口腔病理学講座 賀来 亨
- ⑥『歯周炎で見られる歯槽骨吸収におけるサイトカインの役割について』 平成6年11月26日(土)
西原達次

- (国立予防衛生研究所口腔科学部歯周病室室長)
歯科保存学第1講座 小鷲悠典
- ⑦『Mechanisms Responsible for the Site-Specificity of Dental Caries and Calculus Deposition』 平成6年11月30日(水)
C Dawes (Department of Oral Biology, University of Manitoba教授)
小児歯科学講座 五十嵐清治
- 4. 会計報告
- 5. 歯学会名と雑誌名の変更および会則の一部変更
学会名は、評議員会において以下のように決定され、これに伴って会則の一部変更が報告された。
新学会名：「東日本歯学会」
雑誌名：従来通りとする
- 6. 会費未納による退会者の再入会
会費未納により会員資格を抹消された者が再入会をする場合には、雑誌を送付していた2年間の未納会費を納入したうえで再入会させる旨、報告された。
- 7. その他
川上同窓会会長の講師昇任に伴い、同窓会選出の評議員が1名欠員となったが、本年8月の同窓会総会まで、川上会長が兼務する旨、報告された。

東日本歯学会 平成7年 予算書 (平成7年1月1日～平成7年12月31日)

収入の部		
科 目	前 年 予 算 額	本 年 予 算 額
①会費・入会金	4,366,000	4,514,000
正会員		
本年納入分	2,500,000 (500名×5,000)	2,500,000 (500名×5,000)
滞納分	100,000 (20名×5,000)	250,000 (50名×5,000)
前々年前受金	375,000 (75名×5,000)	400,000 (80名×5,000)
前年前受金	435,000 (87名×5,000)	410,000 (82名×5,000)
5,000 (1名×5,000)		
準会員	57,000 (19名×3,000)	60,000 (20名×3,000)
滞納分		
賛助会員	570,000 (19名×30,000)	570,000 (19名×30,000)
滞納分		
新規会員/新卒	300,000 (60名×5,000)	300,000 (60名×5,000)
新規会員/その他	15,000 (3名×5,000)	15,000 (3名×5,000)
入会金	9,000 (3名×3,000)	9,000 (3名×3,000)
②事業収入	850,000	750,000
広告料	500,000	400,000
別刷料	100,000	100,000
掲載料	250,000	250,000
製版料	0	0
③雑収入	300,000	500,000
利息	100,000	100,000
その他	200,000	400,000
当期収入 (A)	5,516,000	5,764,000
前期繰越金 (B)	6,991,000	7,692,827
次期繰越前受金 (C)	1,010,000	1,020,000
前年前受金	400,000 (80名×5,000×1)	410,000 (82名×5,000×1)
本年前受金	600,000 (60名×5,000×1)	600,000 (60名×5,000×2)
10,000 (2名×5,000×1)		10,000 (2名×5,000×1)
収入合計 (D) (= A + B + C)	13,517,000	14,476,827

支出の部		
科 目	前 年 予 算 額	本 年 予 算 額
①学術大会開催費	220,000	220,000
開催費	20,000	70,000
印刷費	200,000	150,000
②定例講演会開催費	300,000	300,000
宿泊費等	150,000	150,000
旅費	50,000	50,000
謝礼金	100,000	100,000
③学術大会補助金	100,000	200,000
④特別講演会補助金	200,000	200,000
⑤雑誌発行費	3,600,000	3,600,000
印刷費	3,000,000	3,000,000
発送費	600,000	600,000
⑥事務経費	1,018,000	1,248,000
事務委託費	648,000	648,000
印刷費	50,000	50,000
通信費	240,000	300,000
事務用品費	80,000	250,000
⑦備品費	0	0
⑧テントルトピクス補助金	300,000	300,000
⑨会議費	50,000	10,000
⑩予備費	100,000	100,000
⑪諸雑費	100,000	100,000
当期支出合計 (E)	5,988,000	6,278,000
当期支出差額 (F) (A - E)	-472,000	514,000
次期繰越金 (G) (B + F) (H - C)	6,519,000	7,178,827
次期繰越前受金 (C)	1,010,000	1,020,000
前年前受金	400,000	410,000
本年前受金	600,000 (80名×5,000×1)	600,000 (82名×5,000×1)
10,000 (60名×5,000×1)		10,000 (60名×5,000×2)
10,000 (2名×5,000×1)		10,000 (2名×5,000×1)
収支差引残額 (H) (= D - E)	7,529,000	8,198,827
総支出 (E + H)	13,517,000	14,476,827